

4/10(日)北木島の流し雛
11(月)
12(火)
13(水)
14(木)
15(金)
16(土)
17(日)国体民泊協会連絡会議-P16
18(月)
19(火)
20(水)
21(木)笠岡市戦没者追悼式-P18 市長さわやかサロン-P20
22(金)
23(土)
24(日)オリエンテーリング大会in白石島
25(月)交通生活安全係移転-P3
26(火)
27(水)
28(木)
29(金)みどりの日 子どもフェスティバル-P16 ふれあい空港遊覧飛行(~5月4日)
30(土)
5/ 1(日)憲法週間(~7日) 母の日プレゼント教室-P18
2(月)おかげいち
3(火)憲法記念日
4(水)国民の休日
5(木)こどもの日 こどもの日遊覧飛行-P16
6(金)
7(土)文化財研修講座開講-P17
8(日)母の日
9(月)



瞳輝いて



島本 隆弘くん
(大島中)

四 火事予防呼びかけるポスターが「消防庁長官賞」に!

島本くんは、この春高校に入学したばかりの15歳。中学校生活最後の夏休みの課題で描いた山火事予防ポスターが、「消防庁長官賞」を受けました。

全国1万8,000点の応募があった今回、中学校の部で県内唯一の入賞となった島本くんの作品は、木に大きなタバコの火が燃え移る様子が描かれており、色彩の配置も良く見事なもの。ポスターカラーを使い、3~4日かけて作ったと言います。

意外にも、絵を描くのは「美術の授業のときくらい」で、文化系よりもスポーツ系の活動が好きなんだとか。中学生時代は、ソフトテニス部のキャプテンをしていたそうです。

受賞については、「まさか自分の作品が選ばれるとは思っていなかったのだから、本当にびっくりしました。受賞してあらためて森林や山を大切にしようという気持ちになりました。」と語っていました。

笠岡市笠岡にある稲富稲荷神社の本殿と拝殿は、江戸時代後期に、笠岡の宮大工によって建てられた美しい神社建築です。

拝殿は鮮やかな朱塗り、屋根の形は曲線の流れが美しく、建物全体に装飾性豊かな意匠を凝らしてあります。屋根の頂にある大棟の端には「文化十一年(一八一四年)」と書かれた鬼瓦を置いています。内部の天



市指定重要文化財(建造物)
古城山稲富稲荷神社の
本殿及び拝殿

歴史を訪ねて... 笠岡市の文化財

井には、格間(一区画)ごとに見事な花鳥、動物の絵が描かれています。

本殿、拝殿ともに棟札が残っているため、建てられた年代や関係者の名前を知ることができます。拝殿は文政二年(一八一九年)、胡屋幸七ら十一名の世話人により再建されました。大工は山本平蔵と悴の新兵衛となっています。一方、本殿の再建は弘化二年(一八四五年)で、大工は山本茂兵衛、同新兵衛、斉藤幸七の三人です。

この稲富稲荷神社は古城山の中腹にあります。創建は笠岡城(現古城山)の城主であった村上氏が、弘治元年(一五五五年)に城内の守り神としてお祀りしたのが始まりといわれています。今年(四月十日)に「450年祭」が行われます。